



刊夕 日六月九
休日 日曜祭日
一ヶ月 廿五錢
郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢
場所指定 廿錢増
發行所 印刷部
石城郡小幡町大字
新いわき新聞社

一週一言

近年稀の豊作豫想から米價低落の到来を免かれざる形勢に農家は豊作飢饉苦の來たるなきを憂ひ政府も今年十一月から實施する米穀統制法の活用を苦心し各政黨もまた果げて之れが至當な解決に努力されてゐる。

米價が農家以外の諸生産物價に比較して甚だしく安値でないかと云ふことは一般の認むるところであり殊に生活上の最重要品である米の價格に高低常なき不安定は國家の上にも至大な影響のあることと之れに公平な標準價を定むることの必要は今更云ふまでもなく政府及び政黨間に早くから其の要を力説高唱されながら之れを實施されなかつたことは不思議な遅延かつたことと云ひやう。

而して標準公定價が如何なる程度を可とされるかは愈々新法施行を控へての政府にもまた政黨關係者にも調査研究されてゐるので疑ふまでもなく適切公正な標準點を見出されるであらうが公定價が出来た後に於ける買上げの如きもどう行はれるか考へて置かねばならぬことである。

従來の政府のやり方は唯單に買上げと云ふことによつて價格の動搖を抑止されたに止まり生産家各自の實狀を酌みだり方々なかつた結果として

舊盆三日間の平驛

農村に於ける實際の状態は其の大部分である中農以下なるものは收穫期から收穫期までの食米にも充分でないものを出來秋に賣らねばならぬ苦しさをもつのが一般であつて引續く年末決済その他に手放した残りを向ふ何ヶ月かの食糧に於ける生産當業の資産状態等を斟酌しての施行などが至當でないかと思はれる。

斯様な時期と境遇に深い認識をもたれるならば米價の公定と共に買上げの方法も考へて貰ひたく正價維持の對策に貧農救済の意を含めて其の部落に於ける生産當業の資産状態等を斟酌しての施行などが至當でないかと思はれる。

貨物ではまた増収

貨物ではまた増収
平驛八月の取扱ひ成績
平驛に於ける去る八月の貨物取扱ひ成績は取扱ひ額發送では木材一〇三、砂一七七等が主なるもので此の合計發送で三八三三噸(昨年二九三九)に到つては一〇七二噸(昨年六七七九)を比較すれば非常な増加であつて收入五千五百九十圓より九百四十一圓の増加である。

漸く存続に決して

漸く存続に決して
發展に一層の努力
去る四日の評議員會に於て濱通り木炭同業組合
濱三郡木炭同業組合に於ける解散否解散に關する評議員會から反對側にも種々の理由はあるであらうが解散する様な事なく協力して組合の發展を希望したいとの勸説あり滿場一致を以て存続に決したのである。

亭主の不在を見て

亭主の不在を見て
旅費を貸せよと迫
圖々しい小名濱の大工職
石城郡小幡町沖見町七軒料理店金米亭亭主金藏方へ昨日午後五時頃金藏の不在を見て侵入した三十才位の労働者風の男が内縁妻大塚もと(三〇)に對し平へ行く旅費がないから貸してくれと脅迫してゐる處へ亭主金藏が歸宅したので狼狽して逃走したが金藏のため追ひつめられて其筋に突き出された同人は小幡町元町一丁二大工職丹野與四郎(二八)で幾分賂賂もしてゐたらしいが引續き平驛の取調中である。

佛の花探り

佛の花探り
てんかん持の男
石城郡内郷村の平太郎三九の六無職根本義雄(三三)は去る二日午前七時頃佛前に供へる草花を探つて來ると稱して出かけたが、歸宅しないので八時頃同村鬼ヶ澤地内貯水池に於て溺死し居るを發見平驛の檢視あつたが持病のてんかんで倒れたものであると

草刈鎌で兄弟喧嘩

草刈鎌で兄弟喧嘩
盆の十六日午後十時過ぎ
平町鎌田町の三河屋方
平町鎌田町の木賃宿三河屋方に止宿石城郡神谷村上神谷生れ日派葉佐藤静(三三)は實弟推野茂信(三〇)から内縁妻中倉はる(二四)にあんな兄の妻になつて居るより出て行けと云つたことを聞知し憤れて憤慨してゐたが昨日午後五時頃盆十六日で實家を訪ねたまゝ、弟に出會したので前記の事から口論の末實父までを悪罵し居宅

前借金

前借金
却て抱主の不當
石城郡磐崎村上湯長谷字梅ヶ平富岡渡江方鈴木とく(三三)は本年二月前借三十圓で相馬郡小幡町カフエ志賀とめ方の女給に住み込み今九月まで引續き同家に働いてゐたが最近に至り實家の都合上歸宅せねばならぬので主人に請ひたれるも許されず昨日午後七時頃發の上り列車で湯本驛までの切符を求め無銭歸宅した其の

光榮を祝ふ

光榮を祝ふ
晩さん會
海軍特別大演習の觀艦式に當り軍艦島海軍便乗艦隊の光榮に浴した平町長青路鈴木太郎氏及び好開村の小田吉次氏は其の榮譽を歡び昨日午後五時から平町谷口樓に在平日刊記者を招待し青沼氏から觀艦式の莊嚴な狀況を語る挨拶ありたるに對し本社半谷氏の祝辭あり晩餐會に移つて一同喜びの裡に散會した

鐵道代議士の
下打合せ
水戸運輸事務所管内の第三回現業委員會を近く召集の由で明日午後一時から茨城縣那珂港に下打合せ會を開催されるが平驛から安藤藤威、芳賀武正兩氏出席すると

通信事務の協議會

通信事務の協議會
鐵道では通信事務協議會を明日七日の兩日東海道線國府津に開催されるが平驛から電信係主任根本西信氏出席した

武徳會の分區總會

武徳會の分區總會
五日磐崎村にて
石城郡磐崎村の武徳會分區では昨日六日同村小學校に秋季總會を開き大弓及び劍道の試合あつたが弓には三十餘名、劍道には四十餘名の同好者出席した、成績は左の如くである
大弓射撃(二十射の中)一等 高橋國太郎 二等 菅野保福 三等 酒井嘉七 以下十五等
揚の入山關根隆哉
劍道 一等 高橋忠友 二等 小野田東要 三等 玉川橋本勇吉(以上)

入山岩倉組に優勝カップ

入山岩倉組に優勝カップ
鐵道球大會で
地方に於ける鐵道選手の陸球大會は去る三日から仙台市東北帝大コートに開催され三十組の出場に猛烈な合戦を行はれて磐城炭礦若松組と入山探炭の岩倉組の決勝となつたが四對一で入山に勝利され優勝カップは遂に岩倉組に獲得された

荷主懇談
果樹の出荷を控へ
水戸運輸事務所では地方に於ける果樹類の出荷期を控へて取扱上り遺憾なきを期したい目的で来る八日午後二時平驛

農業方面

「あひる」の養ひ方(一)

水田を利用する 雛からの放飼

曾て本欄に於て水田利用の養雛方法を述べたことがあるが毎年田植から収穫までに至る約半年の水稲作に好利用される事業があるれば肥料として非常な利益であることは云ふまでもなく指導當局も種々探究されてゐるところであるが水田を利用する「あひる」の飼養なども面白い仕事でないかと云はれてゐる、これは東北地方としては未だ行はれてゐないが關西地方ではなか／＼盛んなもので成績も悪くはない、飼養の方法は田植の終つた時雛を水田に放ち稲の害虫や雑草を食はせるので大した飼料を與へず秋まで育て上げ収穫期に市場に出すのであるが關東から東北地方では天然肥料とか土地とかの關係によるものであらう「あひる」の水田放飼と云ふものは殆んど行はれてゐない未經験の仕事であるから最初ほんの試みの程度にやつて見て成績がよければ飼料の手を擴めてはと思ふのである、そして其の飼養上にも特殊の技術は要らないのである、現在全國に於ける「あひる」の飼養戸数は四萬戸と稱され飼養羽数は約五十萬羽(昭和七年農林省畜産局の調)で最も多く飼養されてゐる地方としては福岡と大阪つぎは埼玉それから兵庫、新潟、千葉、鹿児島と云ふ各縣の順序である、最近の普及状況は数年前に較べると

大變な相違で殊に大阪方面は非常に普及であるが養雛事業に比すれば普及状況はかなりの相違で農家百戸に對する「あひる」の数は僅々十羽の割合であるからまだ「發展の余地は充分にあるものと云はれてゐる、

サロンは御家庭の延長

御料理本位のサロン

これからの御飲物

フルーツ
ボンチ
コーン
コーヒ
一度當店のものを御試飲を乞ふ

佛蘭西料理 平町田町 電話三五二

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は 三三三 平町 田町

外科 整形外科 醫學士 内木 宗八
婦人科 院長 木村寅次郎
産科 平町新川町一九 電話一六四番
木村病院

雨露に晒す程 煙突は

朝日 煙突

石綿セメント製

朝日煙突

絶対に はげしい! やけたい! くさらない! 経済的で 奥の心配がない!

金屋商店

郷土生薬の研究
和漢藥療法の研究

東華皇漢藥研究所
主任 藥劑士 山野邊東次郎

クスリの調合 平町五丁目角
體温計 山野邊藥局

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇
平町南町 電話二五八番

入院 應 需

明雲堂眼科醫院

平町前 電話六六九番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町田町 電話五二三番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠

磐城共濟病院 (電話一四三二)

内科、小兒科(院長醫學博士 石山謙郎)
産婦人科(副院長醫學士 五十嵐雄二)
外科、皮膚性病科 醫學士 有馬勇二郎
耳鼻咽喉科(部長 醫學士 石山謙郎)
X光線科、物理科(技師 醫學士 石山謙郎)
衛生試驗所(部長 醫學士 吉本孝平)
局(藥局長藥劑師) 鈴木實雄

ガソリン モビール油 日本株式會社

油問屋 關内油店 電話長一六

特約販賣

入院 應 需

藤沼醫院

電話五〇七番

印刷部

新規物を 格安にお 譲り致します

貸手車

スペインG・P 元 詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒

御婦人の方には少し 召し上ると風味一そ

平町大町若松醫院

一俵 參拾錢 (大量取引は特に割引致します)

製造販賣 金成國雅

平町瀬田 電話六八八番

貨物自動車 の御用命 に應じます

外務員採用 初任固定給 月參拾圓

仁壽生命小駐在 吉田一二三郎

安價で効率的

天然加里肥

最も適應する作物!

蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類

天然加里肥は酸性でないから 如何に施用しても土壌を悪變する虞は絕對にありません